

事業報告書

平成 30 年 度

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

境港市中町 106 番地

学校法人聖心幼稚園

理事長 佐賀 有道

学校法人聖心幼稚園 平成 30 年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 設置する幼稚園

聖心幼稚園 鳥取県境港市中町 1 0 6

(2) 定員数及び園児数

園則定員数 150 名

園児数

学年	組名	平成 30 年 4 月 1 日現在 園児数	平成 31 年 3 月 31 日現在 園児数	備考
5 歳児	ゆり組	31 名	31 名	
4 歳児	すみれ組	35 名	34 名	6/30 転勤のため退園
3 歳児	うめ組	19 名	18 名	7/20 転勤のため退園
	さくら組	19 名	18 名	6/30 転勤のため退園
満 3 歳児	たんぽぽ組	18 名	18 名	5/31 転居のため退園 10/7 入園
合計		122 名	119 名	

(3) 平成 31 年 3 月 31 日現在の役員・教職員等の員数

役員数		教職員数	
理事長	1 名	教 員	14 名
理 事	6 名	非常勤職員 (司祭)	1 名
評議員	15 名	職 員	4 名
監 事	2 名		
合 計	24 名	合 計	19 名

(4) 園児数及び教職員数の経年推移 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
園児数	124 名	121 名	133 名	119 名
教員数	14 名	14 名	14 名	14 名
職員数	5 名	5 名	5 名	5 名

(5) 納付金等の経年推移

(円)

園児納付金内訳	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
入園料	18,000	18,000	18,000	18,000
保育料 (月額)	22,000	22,000	22,000	22,000
施設設備費 (月額)	3,500	3,500	3,500	3,500
給食費 (1食)	226	226	226	226
PTA 会費 (1家庭月額)	500	500	500	500
預かり保育料 (月額)	4,000	4,000	4,000	4,000
希望日預かり保育料 (日額)	500	500	400～800	400～800

2. 事業の概要

(1) 平成 30 年度の当園の事業報告

① 理念に基づく教育の実践

キリスト教保育に基づき、幼児の発達の特性と理解につとめ、愛と心をもって子どもの生活を見つめ、家庭との連携を十分にとりながら子どもの心と保護者の心に届くような、一人ひとりを大切にしたい保育の教育実践と教育環境作りに努めた。子どもも保護者も一緒に楽しめる、また、一緒に育ち合える幼稚園作りに力を入れると同時に、園行事では園児の祖父母にも積極的に声をかけ、参加していただけるようにした。

また、地域に開かれた幼稚園作りや社会性の育ちを促すために園児の積極的な地域行事への参加や、年間を通して境小学校との定期的な交流、境一中生の職場体験の受け入れや近隣の介護施設・福祉施設との交流も行った。このような心と心の触れ合いを大切にしたい交流を行うことでさまざまな人とのかかわりを積み重ねながら互いの思いが響き合う楽しさや喜び、葛藤を実感できる人間関係作りの素地を形成する経験をすることができた。

⇒朝礼時のお祈り、終礼時のお祈り、長期・短期の指導計画立案と実践、園だより・クラスだより・全園児だよりの発行、個人用連絡帳の活用、玄関の掲示板、HP の新着情報、福祉ふれあい祭り、まつぼっくりもちつき交流、中学生の職場体験、境小学校との交流、境地区の敬老会参加等

② 教育研究の取り組み

平成 28 年度から取り組んでいる教育研究テーマ「伝え合う喜び、通じ合う心～園生活の中で、聞く力・話す力・伝える力を育てる～」の最終年として継続研究を行った。

⇒教育研究ファイル参照

③ 教職員研修による質の向上

教職員の資質向上に努めるため、累計35回の研修会や勉強会に参加した。参加した職員は研修内容や気づきなどを報告し、内容を全職員が共有している。

また、毎日の終礼でその日の活動内容や子どもたちの姿、育ち、気づき、指導内容で良かった点、反省点などを報告し、他職員よりアドバイスを受けるなどして次の保育に生かせるよう努めている。今後もこのような取り組みを継続することで、一人ひとりの子どもの理解と共通理解を深め、さらなる連携を図りながら保育の充実に努めていきたい。

⇒終礼ノート、研修会報告、週日案の添削等

④ 自己評価の実施

年度初めに自己課題の目標や行動目標を掲げ、保育を行った。毎学期ごとに保育を振り返り、自己評価をして提出した。また年度末には一年間をとおしての自己課題への取り組み状況などを報告した。その都度園長・副園長との面談の場を設け、話し合いを行った。その際、相談なども行い、職員の心のケアも行った。職員個人の自己評価は行っているが、園としての自己評価の実施が十分できていないので次年度の課題である。

⇒自己評価シート、一斉公開日アンケート

⑤ 一斉公開日の実施

6月5日、11月6日に『一斉公開日』として一般公開した。園児の保護者をはじめ、境港市教育委員会、子育て支援課、市内小学校、児童民生委員など地域の方にも案内し多方面の方に当園の教育内容の理解していただけるような取り組みを行った。子どもたちの園での姿を見ていただくと同時に、保育の資料などを配布することで教育内容の理解や職員の保育に対する熱意などを感じ取っていただく機会とした。また、アンケートを取り分析することで、客観的な視点での振り返りをし、今後の保育に生かすようにした。

⇒一斉公開日保育資料、アンケート結果

⑥ 中国地区教育研修大会分科会の担当・運営の実施

8月19～20日の2日間に渡り、『中国地区私立幼稚園・認定こども園教育研究大会』の準備委員として準備運営に参加した。分科会を担当し、水木しげるロードの散策や正福寺での講話などを体験する分科会を担当し、企画・準備・運営を行った。また、懇親会の担当もし、テーブルに妖怪名をつけるなど、境港市ならではの演出を多くの参加者の方に喜んでいただいた。

⑦ 計画訪問の実施

11月12日に計画訪問を行った。鳥取県教育委員会西部教育局指導主事、保育専門員、境港市子育て支援課の方が来園し、園の聞き取り、保育参観、意見交換を行った。園内環境や日頃の取り組みなどを高く評価していただいた。指導を受けた課題として、園の第三者評価の取り組みが未実施であることがあげられた。

⇒ファイル参照

⑧ 食育の実践

境港市の食育支援事業としての『マグロ集会』『カニ集会』を行い、日本有数の漁港である境港ならではの体験を行った。マグロやカニがどのように生育するのか、生体の様子、捕獲する方法などをスライドを使って学んだあと、目の前で調理してもらった。そのほかにも、地元で捕れた魚を自分たちでさばき料理して食べるなど、クッキング活動を行い、地元で捕れるものへ興味関心を深めた。また、限られた環境を使って栽培活動（夏野菜、さつまいも、だいこん）に取り組んだ。収穫したものでクッキング活動を定期的に行い食への感心をもたせると同時に命の大切さを知らせていった。

⇒写真参照

⑨ 赤十字炊き出し体験の実施

11月14日に境港市赤十字奉仕団の方々と一緒に災害時の『炊き出し体験』を行った。今回は、特殊な袋を使った焼きそば作りをした。普段ではできない貴重な体験をすると同時に奉仕団の方との交流の場にもなっている。

⇒写真参照

⑩ 『にこにこひろば』（子育て支援事業）の実施

子育て支援の一環として未就園児親子・在園児親子対象に、親子で一緒に楽しさを共有し、親子の絆を深めるための『にこにこひろば』を、土曜日を使って行った。ボトルアクアリウム作りやお月見団子作りなど、年間で9回行い、延べ83組の親子が参加した。また、毎日の園庭開放や園行事への参加も行った。

⇒ ファイル参照

⑪ 『親子登園日』（子育て支援・保護者支援事業）の実施

親子で触れ合う、共に学び合える、親同士の関係作りを目的として計画を立て、一緒に楽しみながら各学年で土曜日を利用して行った。

- 5月12日（土） 2歳児たんぽぽ組
- 5月16日（土） 5歳児ゆり組
- 5月26日（土） 3歳児うめ・さくら組
- 6月 2日（土） 4歳児すみれ組

⇒写真参照

⑫ 『にこにこ子育てサロン』（子育て支援・相談事業）の実施

在園児の保護者を対象にした子育て相談事業『にこにこ子育てサロン』を実施した。園行事などの関係で、年4回の実施のみになった。個別の相談などは、日ごろから行っているが、サロンとしての案内が少なくなったことが反省点である。

⑬ 預かり保育（子育て支援事業）の実施

子育て支援事業として預かり保育を行っている。就労する親が増加していることから、需要が高まっている。

- 保育終了後～18：30 利用児約 35 人
 - 長期休業中（春休み、夏休み、冬休み）8：00～18：30 利用児約 45 人
 - 希望日預かり保育 保育終了～18：30 利用児約 1～8 人
- ⇒預かり保育記録ファイル、名簿参照

(2) 平成 30 年度の教育及び活動報告

① 園行事の実施状況

月	行 事
4 月	始業式、入園式、家庭訪問、PTA 総会
5 月	親子登園日、避難訓練、健康診断（内科検診、歯牙検査）
6 月	一斉公開日、プール開き、市民プール（長）、人形劇観劇
7 月	七夕まつり、避難訓練、クラス懇談会、夕涼み会（長）、終業式、夏休み
8 月	夏休み、夏期保育
9 月	始業式、祖父母会、防災訓練、幼稚園説明会
10 月	運動会、幼稚園説明会、ロケットくれよんコンサート、バザー（PTA）
11 月	一斉公開日、収穫感謝祭、赤十字炊き出し体験、避難訓練、もちつき
12 月	クリスマス礼拝・祝会、個人懇談会、終業式、冬休み
1 月	始業式、入園説明会
2 月	節分豆まき、生活発表会
3 月	ひなまつり、避難訓練、教室公開（参観）、お茶会（長）、お別れ会、卒園式、終業式、春休み

② 毎月の行事

- 誕生会…誕生児の保護者を招待し、一緒にお祝いしていただく。誕生会への参加、給食を一緒に食べていただく、茶話会での交流などを通して、園の教育内容などを理解していただく機会となっている。
- 身体測定・アタマジラミチェック…毎月初めに測定を行い成長の様子を知らせる。同時にアタマジラミチェックを行う。

③ 各種教室の実施

- 園児の知育発達促進のため、外部講師を招き教室を保育時間内に行っている。
- 英語教室（対象：年長）…月 2 回 講師：面谷直美先生
 - 茶道教室（対象：年長）…月 1 回 講師：岡空京子先生
 - 体操教室（対象：年長、年中、年少）…月 1～2 回
講師：新井政和先生（トータルスポーツクラブ）

④ 安全・保健教育の実施

- 避難・防災訓練…年 4 回 火災、地震、津波発生などを想定して、避難訓練を行っている。引き渡し訓練も実施してみた。
- 各種保健事業の実施…内科検診、歯牙検査、尿・蟻虫検査、寄生虫検査の実施。保健だより発行による情報発信も行っている。

⑤ 課外体操教室の実施

- 保育終了後（15：00～16：00）、本園遊戯室にて『課外体操教室』を行っている。
講師：トータルスポーツクラブ 新井政和先生

・毎週水曜日…年中児（希望者約 20 名）・毎週金曜日…年長児（希望者約 20 名）

（3）教職員の処遇改善

平成 29 年 1 月 15 日開催の理事会・評議委員会において

職員の処遇改善の内容について、議案提出・協議し、議決する。

平成 29 年 3 月 16 日開催の理事会・評議員会において

処遇改善に伴う給与規定改定等の議案提出・協議し、議決する。

平成 30 年 4 月からの処遇改善の実施。

（4）経営関係

- ① 納付金の見直し
- ② 役員等の退任、選任、就任の協議・承認
- ③ 経理規定の変更
- ④ 給与規定の変更
- ⑤ 園則の変更

（5）教職員の退職及び採用

① 教職員の退職

平成 31 年 3 月 31 日付退職者名（敬称略）

- 角 洋子（園長）
- 絹見（宮川） 遥（常勤講師）
- 松本 礼治（園バス運転手）

② 教職員の採用

平成 31 年 4 月 1 日付採用職員名（敬称略）

- 山下 理恵（非常勤職員）
- 塩田 博見（園バス運転手）

監査報告書

1. 監査期日 令和 元 年 5 月 14 日
2. 監査場所 学校法人聖心幼稚園本部
3. 監査対象
 - (1) 学校法人の平成30年度の財産の状況
平成30年度の計算書類
 - ①資金収支計算書
 - ②人件費支出内訳表
 - ③事業活動収支計算書
 - ④貸借対照表
 - ⑤固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細表
 - ⑥財産目録
 - (2) 理事の執行の状況について

4. 監査結果

学校法人の財産の状況に関しては、関連帳簿等との照合、預金等の残高証明書等との照合さらに必要と認められた重要な取引については関連証憑を閲覧しました。その結果、平成30年度の計算書類は学校法人会計基準に従い適正かつ正確に作成されていると認めました。

理事の業務執行については、理事会及び評議員会の議事録を閲覧し、さらに理事長から学校法人の状況についての説明を受けました。その結果、理事の業務執行は良好であると認めました。

令和 元 年 5 月 14 日

学校法人聖心幼稚園

監 事 権田 郁子



監 事 寺澤 春香

